

令和5年 第6回大崎市教育委員会定例会会議録

1 招集期日	令和5年6月23日(金)	開会 午後2時38分	閉会 午後3時08分	
2 招集場所	本庁舎 306会議室			
3 出席委員等	教 育 長	熊 野 充 利	教 育 代 理 者	青 沼 陽 一
	委 員	若 見 朝 子	委 員	—
	委 員	—	委 員	早 坂 正 年
4 欠席委員	佐藤 寛委員, 堀 智恵子委員			
5 傍聴者	—			
6 事務局職員出席者	教 育 部 長	三 浦 利 之	教 育 部 参 事	菅 原 栄 治
	教 育 総 務 課 長	小 野 寺 晴 紀	学 校 教 育 課 長	大 場 宏 昭
	生 涯 学 習 課 長 兼 室 長 兼 館 長	古 内 康 悦	文 化 財 課 長	—
	地 域 交 流 セ ン タ ー 長	高 橋 和 広	図 書 館 長	高 橋 誠 明
	学 校 教 育 課 副 参 事	畑 中 智		
7 書記	教 育 総 務 課 課 長 補 佐	久 本 裕	教 育 総 務 課 主 幹 兼 係 長	高 橋 香
8 議 事	専決事項報告	大崎市社会教育委員の委嘱に関する専決処分について		
	専決事項報告	大崎市青少年センター運営協議会委員の委嘱に関する専決処分について		
	議案第27号	大崎市学校給食運営審議会委員の委嘱について		
	議案第28号	人事案件について		
	追加議案 議案第29号	人事案件について		
	報告事項	第1回いじめに関するアンケート調査について		
	報告事項	標準学力調査(1学期)結果について		

<p>教育長</p>	<p>ただいまから、令和5年第6回大崎市教育委員会定例会を開催いたします。 出席委員定足数に達しておりますので、本定例会は成立いたしました。 これより会議を開きます。</p>
<p>教育長</p>	<p>はじめに、令和5年第5回定例会の会議録の承認を求めます。 内容について、ご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり）</p> <p>ご異議ないものと認め、会議録を承認いたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>次に、本日の会議録署名委員を指名いたします。 早坂委員、お願いいたします。</p>
	<p>ご報告いたします。 佐藤寛委員、堀智恵子委員から、欠席する旨の届け出がありました。</p>
<p>教育長</p>	<p>【傍聴者がいない場合】 本日の教育委員会定例会への傍聴者については、おられないことを報告いたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>続いて、私から教育長報告をさせていただきます。</p> <p>教育長報告を申し上げます。 はじめに、学校教育についてご報告いたします。 小学校では6月から7月にかけて、野外宿泊体験活動が実施されております。自然の中での活動を通して、自然の美しさや厳しさを体感することや、集団生活の楽しさ・協力することの大切さを体験するなど、子どもたちの成長に有意義な活動となっておりますので、事故なく実施されることを祈っております。 中学校では、中学校総合体育大会が5月27日と28日の両日に開催されました。各種スポーツに生徒たちが日頃の練習成果を発揮し、楽しみながらも緊張感がただよう中で精一杯がんばる姿が大変印象的でありました。 6月10日には、大崎市の陸上競技大会が加美町の陸上競技場を会場として行われました。 大会当日は6月とは思えないほどの暑さの中での開催でしたが、各種目で記録に挑戦する姿が見られました。好記録も多く、女子1500メートル走では、古川東中学校の選手が大会新記録を樹立いたしました。</p> <p>さらに、6月27日には、市の中学生駅伝大会が田尻を会場に開催される予定であります。 各種スポーツで県大会への駒を進めた子どもたちのさらなる飛躍と、駅伝大会に出場する生徒たちには持てる力を十分に発揮し、活躍してくれることを期待しているところであります。</p>

次に、青少年センター事業について報告いたします。

6月8日に令和5年度大崎市青少年センター運営協議会を開催いたしました。

当日は、新たに4名の方に委嘱状を交付し、青少年センター運営へのご協力をお願いをいたしました。

また、議事では、令和5年度の青少年センターの概要や事業計画等について説明し、貴重なご意見を伺ったほか、古川警察署、鳴子警察署の委員から、管内に関する少年非行の現状について講話をいただきました。

引き続き、大崎市の将来を担う青少年の健全育成と非行防止に努めてまいります。

次に、芸術文化活動についてご報告いたします。

音楽が聞こえる都市（まち）づくり事業の一環として、市内小・中学生などを対象とした音楽アウトリーチ事業を、5月25日に鬼首小学校、鳴子小学校を会場に、安田智彦グループによるジャズ演奏会を実施いたしました。

また、芸術家派遣事業として、和太鼓のワークショップを6月6日に敷玉小学校を会場に実施いたしました。

それぞれの事業をとおし、プロの演奏を鑑賞した子供たちの感受性や表現力の向上が期待されるものあり、引き続き、芸術文化のすばらしさを届けられるよう取り組みを進めてまいります。

次に、スポーツ振興事業についてのご報告いたします。

大崎市スポーツ推進委員協議会主催によるノルディックウォーキング体験会in古川が6月18日に実施されました。

当日は、市内外から42名の参加をいただき、ラムサール条約登録湿地「化女沼」の周囲約5kmのコースを完歩し、風光明媚な景勝地である化女沼で、充実した一日を過ごしていただきました。

なお、今年度2回目の体験会は、10月15日に三本木地域を会場に行う予定となっております。

次に、有備館での夏季企画展についてご報告いたします。

今回の企画展は以前に展示した「岩出山城主 伊達政宗と岩出山」、
「徳川家康がやってきた」等の振り返りとして6月20日から8月20日まで「近世岩出山の礎を築いた家康と政宗」の展示を行っております。

次に、図書館の運営状況についてご報告いたします。

6月24日から7月2日まで企画展「カマ神展」を開催いたします。

この企画展では加美町文化協会「木彫りの会」と文化財課の協力により、カマ神の展示とともに制作実演を6月25日に、講演会を7月2日に実施いたします。

また、7月16日と17日の2日間は「図書館まつり」を開催し、おはなし会や児童工作教室、郷土芸能の披露、基幹公民館図書室との連携事業などを行うこととしております。

これらにより、多くの市民の方に図書館のことを、さらに広く知っていただくきっかけになればと考えております。

また、先の6月13日に仙台市坪沼に開校されました、私立のロリポップ小学校を視察してまいりました。

思い切った教育方針のもとに、子供たちが活動に取り組んでいたのが大変印象的でした。7月12日には、今度は白石市の不登校特例校などを視察してまいる計画でございます。

<p>教育長</p> <p>教育長</p>	<p>6月20日と21日に議案質疑が行われ、上程していました一般会計補正予算につきまして、全体で14人の議員から質疑を受け、可決されたところであります。26日から29日にかけては、一般質問が行われることとなっており、教育関係では、11人の議員から、不登校の現状、中学校部活動の地域移行、社会教育施設等の状況などのご質問をいただく予定であります。それぞれの質問に対し、教育委員会におけるこれまでの取り組みを丁寧にご説明しながら、今後の考え方や方向性をお示しし、各事業の一層の推進に向け取り組んでいく旨をお答えしてまいります。</p> <p>本日の委員会では、審議会等委員の委嘱などを主な議案として提案いたします。また、いじめに関するアンケート調査、標準学力調査についてをご報告いたしますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>以上で教育長報告を終わります。</p> <p>ただいまの教育長報告について、何かご質問はございませんでしょうか。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、質疑がないものと認め、教育長報告につきましては、以上とさせていただきます。</p>
<p>教育長</p> <p>生涯学習課長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	<p>次に、専決処分報告を行います。</p> <p>はじめに、「大崎市社会教育委員の委嘱に関する専決処分について」の報告をお願いします。</p> <p>生涯学習課長 報告願います。</p> <p>生涯学習課長 先ず、最初に「大崎市社会教育委員」の委嘱につきまして、専決処分しましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>1ページをご覧ください。</p> <p>大崎市社会教育委員は15名の方に委嘱しておりますが、そのうち推薦母体での異動により新たに1名「大崎市PTA連合会」から「鹿野(かの)重則(しげのり)様」を、ご推薦いただきましたので、6月1日付けで委嘱したものでございます。</p> <p>任期は、「前委員の残任期間となります令和6年5月31日」までの1年間となります。</p> <p>以上ご報告とさせていただきます。</p> <p>ただいまの説明に対し、何かお聞きしたいことがあればお出し願います。</p> <p>(なし)</p> <p>ないようですので、この件については以上とさせていただきます。</p>
<p>教育長</p>	<p>続きまして、専決処分報告を行います。</p> <p>「大崎市青少年センター運営協議会委員の委嘱に関する専決処分について」の報告をお願いします。</p> <p>生涯学習課長 報告願います。</p>

<p>生涯学習課長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	<p>続きまして、2ページ 大崎市青少年センター運営協議会委員の委嘱について専決処分をしましたので報告いたします。</p> <p>大崎市青少年センター運営協議会につきましては、15名の方に委員を委嘱しておりますが、二つの推薦母体での異動があり、新たに宮城県鳴子警察署から生活安全課長 千葉進（ちばすすむ）氏と、大崎市PTA連合会から 神田雄一（かんだゆういち）氏を推薦いただきましたので、委員を委嘱したものであります。</p> <p>任期は前委員の残任期間となる令和6年5月31日までとなります。</p> <p>以上ご報告させていただきます。</p> <p>ただいまの説明に対し、何かお聞きしたいことがあればお出し願います。</p> <p style="text-align: center;">(なし)</p> <p>ないようですので、この件については以上とさせていただきます。</p>
<p>教育長</p> <p>教育総務課長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	<p>次に、日程第1 議案第27号 「大崎市学校給食運営審議会委員の委嘱について」を議題といたします。</p> <p>教育総務課長 説明願います。</p> <p>それでは3ページになります。議案第27号大崎市学校給食運営審議会委員の委嘱についてでございます。</p> <p>本件につきましては、令和4年10月1日付で、委嘱しておりました委員のうち、大崎市PTA連合会から公認の委員の推薦を受け、令和5年7月1日付で記載の1名を委嘱するものでございます。</p> <p>なお、任期につきましては前任者の残任期間となりますことから、令和6年9月31日までとなります。</p> <p>ご審議の上ご可決賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>ただいまの説明に対し、何かお聞きしたいことがあればお出し願います。</p> <p style="text-align: center;">(なし)</p> <p>質疑がなければ、本案についてご異議なしと認め、原案のとおり決定いたします。</p>
<p>教育長</p> <p>青沼委員</p> <p>教育長</p> <p>青沼委員</p>	<p>次に、日程第2 議案第28号「人事案件について」、日程を追加しまして議案第29号「人事案件について」を議題といたします。</p> <p>発議。</p> <p>発議がございましたので、認めます。</p> <p>人事案件でありますので、教育委員会会議規則第5条第1項の規定により、議案第28号、議案第29号を秘密会とすることのお取り計らいをお願いいたします。</p>

<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	<p>お諮りいたします。 議案第28号，議案第29号を，秘密会とすることにご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なしの声)</p> <p>ご異議なしと認め，議案第28号，議案第29号を秘密会といたします。 教育部長，教育部参事，教育総務課長を除き，そのほかの方々のご退室願います。</p> <p>暫時休憩します。</p> <p style="text-align: center;">(秘密会)</p> <p style="text-align: center;">(退出者入場後，再開)</p> <p>それでは，再開いたします。</p>
<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>副参事</p>	<p>報告事項に入ります。</p> <p>(1) 「第1回いじめに関するアンケート調査について」の報告をお願いします。</p> <p>学校教育課副参事 報告願います。</p> <p>それでは，私からは初めに「いじめアンケート調査の結果について」報告をさせていただきます。 資料1とあるものをお開きいただきたいと思います。開いていただきますと，要項あるいは実際に使ったアンケート調査用紙等を参考までに載せていただいております。 5ページ目をお開きいただきます。 こちらから始めに5ページから7ページまで，小学校，義務教育学校6年生から中学校2年生，義務教育学校8年生までのアンケート調査結果についてでございます。 初めに1今いじめを受けていますかっていうところのグラフになります。 今回，人数の方も記載させていただいたところでございます。 今，いじめを受けていると回答した児童生徒につきましては，昨年度の同時期と比較いたしましても6年生2.1ポイント増加。 中学校後期課程でもわずかにそうだというふうに見られております。</p> <p>また，あなたの周りでいじめを見たり聞いたりしているか。という回答につきましては，6年生で2.6ポイント増加。 中学校，義務教育学校後期過程では1.4，0.4ポイントそれぞれ増加というふうになっております。 また，あなたは誰かをいじめたりいじめに加わったりすると思いますかという質問に対しては6年生では0.7ポイント増加。 中学校，義務教育学校後期課程では減少または同等となっております。</p> <p>SNS上でいじめを受けていると回答した児童生徒につきましては，小学校6年生では，減少。中学校，後期課程については同等というふうになっております。</p>

このような結果になった結果、背景を推察いたしますと、これまでコロナによる感染対策がとられている中では、密な関係が気付きにくかったこともありまして、友達関係にも大きな影響がありました。

新しい教室に馴染めなかったり、あるいは新たな人間関係に戸惑いを感じたりして、新たな人間関係を築きにくく、関わりが希薄なため、これまではいじめに発展することが低いのではないかとということがうかがえます。

コロナ禍が収束し、4月からは少しずつではありますが、マスク着用しないことが基本となりました。

友達の表情を見ながら関わる機会が増えたことによりまして、進学進級して新たな人間関係を構築する中では、いじめと感じたり、いじめを見たり聞いたりしたという児童生徒が増えることに繋がったものと考えられます。

特に、小学校6年生におきまして、増加が見られている点については、最高学年として、様々な場面でその存在感を示す場面が増えまして、自らの考えや意見を主張したり、代表として行動したりすることがあります。

友達と協働した活動場面が増えるなどして、時には意見の衝突もただあったのではないかと想像いたします。

それらの経験を通して、本来は豊かな人間関係を構築していくわけですが、中には、友達の関わりに歪みが生じたり、屈折したりするなどして、いじめへと捉えられるトラブルに発展してしまったことではないかということが伺えます。

また、いじめを受けている、見たり聞いたりしていると、素直にアンケートに答えることができていることは、担任あるいは他の先生の発信に繋がっているということもできます。

いじめの訴え、あるいはトラブルの訴え、何とか解決してほしいという。切実な訴えができる関係性が、構築できているということは大変重要なことであると捉えております。

アンケートを踏まえまして、一つ一つの事案に対して、早期発見に努め、早期に対応し、保護者の理解と協力をいただきながら、いじめトラブルの解消に繋がなければならないと強く感じております。

次に8ページをお開きください。

いじめの対応についてでございます。

小学校義務教育学校6年生においては、悪口冷やかしがここ数年で一番多くなっています。

中学校義務教育学校後期課程でも増加していることが伺えます。何気ない子供たちの一言が、いじめに繋がっていることが伺えます。

また、9ページをお開きください。

いじめを受けたとき、誰に相談しますかの問いのところでは、中段(7) 誰にも相談しないと答えた児童生徒が、中学1年後期7年、中学2年後期8年で比較して増加と、いう結果が出ております。

いじめがあっても、自身の中で抱え込んでいないかどうか心配しているところでもあります。

学校では、今回のような定期的なアンケートを実施したり、スクールカウンセラー等への相談の機会を設けたりして、SOSを発する機会を大切にしているところでもあります。

加えて、校長会議等では、子供たちにSOSを出すことの大切さや、出し方の指導をお願いしております。

実際にこのアンケート実施後に、誰にも相談しない回答した子供たち一人一人にSOSを出すこと、相談することの大切さについて、個別に声掛けをした学校も複数ございます。

いじめが減り、相談できる相手がしっかりとと言えるような環境作りとなるようこれからも働きかけていきたいと思えます。

続きまして、11ページをお開きください。

いじめをなくすために、あなたがしたいことは何ですかという質問に対して、児童生徒の積極的な声が寄せられました。

仲良くする、悪口を言わない。と、回答する児童生徒が多く、声をかけることの大切さを感じている児童生徒も多いことがわかりました。

右側の箱囲みの赤字で示した白丸の部分について、子供たちからの意見を載せさせていただいております。

「アンケートやポスターを作る」「自分と違うものを否定しない」「なぜいじめが起きたのかその原因を考える」「相手の立場に自分を置く」など、いじめをなくすための方策を真剣に考えている様子が思い浮かびます。

今後の児童一人一人が、自己有用感を持ち、他とのより良い関わりを築きながら、いじめ見逃しのない学級学校作りに努めるよう各校に指導してまいります。

12ページをお開きください。

学校生活が楽しいですかというアンケート結果でございます。

こちらについては昨年度と同様、楽しい、大体楽しいと答える児童生徒が多くなりました。また、あまり楽しくない、楽しくないと答える児童生徒がいることもあります。こういった児童生徒を見逃すことなく、一人一人に応じた声掛けをし、また、更なる事業を作り、よりよい授業作りに努めるよう指導してまいります。

最後に、13ページをお開きください。

今回の調査結果を踏まえて、各校での対応事案等を含むものを、菱形、黒塗りの菱形で示したものでございます。

個別に声掛けをし、また、保護者への連絡、定期的な面談等を実施するなど、適切な対応を学校で取り組んでいるところでございます。

また、一人一人のケースに応じて、聞き取りをし、事実確認をするなど、適切な対応をとられている取り組みが見受けられます。

また、白丸のアンケート以外の取り組みについても、記載の通りとなります。

定期的な学校独自の意識調査を実施したり、担任によるチェックシートを用いたチェック機能体制を構築したり、いじめ問題対策委員会の設置など、子供たち、あるいは学校の実態に応じた対応を進めているところでございます。

16ページからについては、中学校、義務教育学校後期課程についてのものを記載しております。

いじめ調査結果について、アンケート調査の結果については以上となります。

教育長 ただいまの件につきまして、ご質問はありませんか。

青沼委員 はい。

教育長 青沼委員はい。

青沼委員 全体の感想です。会議でもお話申し上げたいと思ってました。

コロナ禍が明けて、第5類というふうになったためということも含めて副参事から説明あり、密になってきたというなってきたということでも原因の一つ。数字だけでははっきり言えないところはあると思うんですけど、私はこれをプラスの要素として、教育活動としてですね、プラスの要素として評価していきたいというふうに考えてます。

本来の教育活動そのものは、人と人は関係力を作りながらっていう一つの間でもありますので、それが増えたというデータを私はマイナスというだけでは捉えないマイナスだけだっというふうに捉えて、プラスの要素がとも出てきたというふうに考えていいのかもしれない。

ただ、イージーにそう思うんではなくて今、副参事から説明あった通り、そのための対策、それから私からすればアンテナを高くするという意味なんですけれども、いじめ、そういうものを含めての団体の差する活動を含め、そういう対策について、それから今起きたときの要するに対策前それもね、そういうときの対応についても、きちっと指導しながらやっていくということで、ですから私が申し上げたいことは、マイナス要素だけではなくていじめが起きたとか何とかなったときに、それだけで解決しないということが大事なんではないかなというふうに考えており感想を含めてお話ししました。

本来の教育活動が充実していればそういうふうになっていくという。

充実というのは全部起きないことが充実ではないということを、しっかりとらまえる必要あるのかなと我々教育委員会としては考えております。

以上です。

教育長 はい、ありがとうございました。
感想ということで承りたいと思っております。

教育長 他にございませんか。
はい、それではなければ、本案については了といたします。

教育長 次に、(2)「標準学力調査について」の報告をお願いします。
学校教育課副参事 報告願います。

副参事 それでは標準学力調査(1学期)結果について【概要版】資料2をご覧くださいと思います。

「標準学力調査について」報告いたします。
今年度の宮城県学力向上マネジメント事業に係る大崎市の学力向上推進の取り組みについて初めにご説明いたします。
令和4年度から、昨年度までの結果をもとに、市内全ての小中、今年度から義務教育学校全てに水平展開を図っているところでございます。

今回、第1回標準学力調査を実施したところで、大崎市の状況についてご説明を申し上げます。

この調査は、小学校、義務教育学校2年生から6年生の算数。中学校、義務教育学校、1年生から3年生の数学についての調査でございます。

ただし、小学校2、3年生、中学校3年生につきましては、令和3年度モデル校を除いたものというふうになりますので、ご理解をお願いいたします。

初めに、結果について、正答率達成率の状況でございます。

小学校におきましてご覧いただきますと、まず大崎市の制動率全国との比較を見ますと、2年生から4年生まではほぼ同程度という結果となりました。

5年生、6年生につきましては、顕著に下回るという数値が出ております。

また中学校、大崎市正答率においては、全ての学年で顕著に下回るという結果となりました。

また、大崎市達成率の部分でございます。

こちらにつきましては、2年生、6年生について同程度。小学校3年生から5年生、また中学校においては顕著に下回るという結果となりました。

続きまして、裏面をお開きください。

同一集団の経年変化でございます。

こちらの見方につきましてですが、まず赤の攻防戦が全国平均の正答率を50としたときの換算値でございます。

小学校3年生をご覧いただきます。

こちらについては今年度、小学3年生の数値が48.7、昨年度、令和4年度小学校2年生のときと比較いたしますと、全国の赤い横棒より開きが限りがですね、縮まっているというところが見受けられます。

同じように、小学4年生、また小学6年生においては、徐々に全国との乖離が縮まっているというところが、結果として表れています。

小学校5年生につきましては、小学校2年生のときには48.9%だったものが、今年度、5年生のときには46.6というところで、全国との乖離が開きつつあるという状況です。

中学校につきましては、1年生では、ほぼ全国との乖離については横ばいであるというふうに見られます。

中学校2年生、中学校3年生につきましては、それぞれ小学校6年生、中学校1年生を一番、全国の乖離が進んでいる状況から見ると、徐々にではありますが、全国との乖離がわずかながら開きつつあるとなるというふうに見ることができます。

また、②達成率。全国との乖離でございます。

こちらについては、青のグラフが令和4年度。オレンジの部分が令和5年度というふうになります。

赤の全国の横棒から見て、各学年それぞれ、小学3年生から6年生までは、全国との乖離が縮んでいるというところが見られます。

中学校1年生から3年生については、わずかながら差が開きであり、特に顕著なのが中学2年生では、差が開きが大きくなっているというところが見受けられます。

次のページをご覧ください。

今回の調査結果についての考察となります。

まず、小学校についてでございます。これ一度、オレンジの箱囲みのところをご覧ください。

正答率達成率は全国値を下回っておりますが、標準スコアの経年比較においては、3年生4年生が全国との乖離が改善されており、6年生では同数値でありました。

達成率の経年変化では全ての学年において、乖離が小さくなってる、成果が見られているということが言えます。

中学校におきましては、正答率達成率が全国値を下回っている。

経年変化においても、学年が進むにつれて全国との乖離が大きくなっている状況が見受けられる。

青の箱囲みのところをご覧ください。各学年の課題となっている内容を取り上げたものでございます。こちらについてそれぞれ今年度、つまりき解消期間等を設定しながら、この単元をですね、重点的に指導していく必要があるというふうに考えております。

また、緑の箱囲みの改善に向けた取り組みについてでございます。学力向上マネジメント大崎方式、カリキュラムマネジメント事業改善集団作り小中連携の三つの柱をもとに、PDCAサイクルの循環を今後も図ってまいりたいというふうに考えております。

また二つ目、大崎スタンダードにより、事業評価シートの活用については、今後も更なる活用を図るよう、企画通り指導してまいりたいと考えております。

概ね、令和元年度からこの取り組みを行っておりますが、経年比較を見ますと、年を追うごとに、全国値に近づいている学生もございます。

その点では一定の成果を得ることができているという点もあります。

しかしながら、学年が上がるにつれて帰りが広がっているという状況も見られます。

こちらについては、なかなか理解がしにくかった児童生徒が年を追うごとにその内容が難しくなり、できにくくなりつつあるという点が、課題となっております。

成果と課題をもとに、さらに改善を重ねて、学力向上のPDCAサイクルをさらに更なる推進をしてまいりたいというふうに考えております。

私からは、標準学力調査の結果についての報告以上となります。

教育長 ありがとうございます。ただいまの件につきまして、ご質問はありますか。

青沼委員 はい。

教育長 青沼委員。

青沼委員 質問ではありませんが、はい。

改善されてるところもあるということで、これがいくらであろうが、そっちに向かってと、そしてもう一つ申し上げたいのが、3、4年が改善されてると。小学5、6年というのはその前の年、考えていくとこれが、次の3、4年持ってなくて今の4年生が5年生のときも改善されるっていう方向だといいなというふうにまず思います。

ぜひ、声を大にして言ってほしいことは、今赤で書いてあるところありませんね、飛び抜けて落ちてるところが赤で、あるんですが完全領域別でもそうだしセントラルの観点っていうかでもずっと見てると、例えば小学校の3年生の4~7ページでございますかね。三角形と四角形というふうになったときにここが、全国的にもそうだみたいだけでも落ちてると。

ここはやっぱり強烈に指導の意識、今の2年生、3年生で結果だから2年生の指導では、ここが落ちやすいんだということを強く、校長会か何かでのときにもお話してここに力入れるっていうと、やっただけでも、違いかもかもしれません。かなり大きな要素だと思うので、落ちやすいところってのは結構あるんですねやっぱり全国的に落ちてますから。

<p>教育長</p> <p>教育長</p>	<p>二つ申し上げました。もう1回言うけども最初言ったら忘れてしまいましたけども、ぜひとも学年が上がって今維持してるのをまた上がっていくと、全体としてレベルアップが考えられると思いますので、せっかく3、4年生があつて今言ったし、2年生は青が多いわけだからね。</p> <p>こういう傾向をずっと積み重ねていくと、教育とはそういうところがありますよね。</p> <p>ですからぜひと思っています。</p> <p>本当にご苦労様だということですね。</p> <p>この二つの点でも互助会等々でもお話申し上げる研修社会でも、ここを意識してやってちょうだいっていうのをみんなにやっぱり伝えても、職員伝えてもいいんだな。</p> <p>そうすると、少なくともそこだけを意識しただけでも違うかなというふうに感じましたので、</p> <p>小手先のようにけど、やっぱり分析するってのはそういう要素があるわけだから、よろしく願いしたいなと思っています。</p> <p>ご苦労様です。</p> <p>ありがとうございます。他によろしいですか。</p> <p>(なし)</p> <p>それではなければ本案については了とさせていただきます。</p>
<p>教育長</p>	<p>本日の議事案件については以上となりますが、委員の皆さんから、ほかに何かございますか。</p> <p>(なし)</p>
<p>教育長</p>	<p>ないようですので、以上で本日の教育委員会定例会を終了いたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>次に、各課・館の報告に入ります。</p> <p>教育部長→教育部参事→教育総務課長→学校教育課長→生涯学習課長→文化財課長→地域交流センター長→図書館長→学校教育課副参事</p>
	<p>この会議録の作成者は次のとおりである。</p> <p>教育総務課 総務担当 主幹兼係長 高橋 香</p> <p>上記記録の正確なることを認め、ここに署名する。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>_____ 教 育 長 _____</p> <p>_____ 署名委員 _____</p>